

※公募の詳細については、公募機関(AMED)のwebサイトで必ず確認してください。(H28.6.21現在)				
【H28年度日本医療研究開発機構(AMED)研究費】(革新的がん医療実用化研究事業2次公募)				
【公募締め切り・事業紹介リンク先】				
革新的がん医療実用化研究事業(2次公募)			研究推進課学術調整係への提出期限 平成28年7月12日(火) (AMEDの期限は7月19日(火)正午 厳守) ○提出方法:e-Rad(機関承認要) http://www.amed.go.jp/koubo/010320160419.html	
公募課題				
	研究費(年間) (間接経費を含む)	研究期間	採択件数	公募する研究概要
領域1:がんの本態解明に関する研究				
がんの個別化医療の実用化に向けた解析・診断システムの構築研究	30,000～ 100,000千円程度	最長3年	0～2課題程度	【公募する研究内容】 実施者が選定したがん種において、患者がん組織のクリニカルシークエンスデータ等、複数のバイオマーカーの検査・解析結果を用いて、患者及び医師等を含む臨床現場に対して、個別に適切な治療法を提示できるモデル診断システムの構築を行う研究、及びがんの個別化医療を実践する医師・看護師等を対象とした研修プログラムの開発を行う研究を募集します。 【求められる成果】 ○構築されるモデル解析・診断システムには、将来的には、他がん種へ応用可能なこと、最新の知見に対応してバイオマーカーや選択肢となる治療法などのアップデートが可能なこと等の汎用性が求められます。 ○がんの個別化医療を実践する人材育成としては、がん診療連携拠点病院等の医師・看護師等を対象とした研修プログラムを研究開発開始1年以内に作成し、次年度以降、順次研修を実施することが求められます。研修プログラムの内容としては、体細胞変異の網羅的解析をはじめとするがん関連遺伝子検査、検査の品質管理・保証、患者・家族への検査の目的・内容・限界・結果の伝え方、解析結果に基づく個別化医療の実施(臨床試験への登録・紹介を含む)、偶発的・二次的所見に対応するために必要となるカウンセリング、他職種との連携、患者の意思決定への支援等の内容を包括していることが期待されます。
領域2:がんの予防法や早期発見手法に関する研究				
領域2:対策型胃がん検診プログラムの最適化を目指した大規模臨床研究	50,000千円程度	最長3年	0～2課題程度	【公募する研究内容】 本研究課題では、ヘリコバクター・ピロリ感染等に着目したリスク層別化を組み入れた胃がん検診プログラム(胃内視鏡検査を含む)の臨床研究をおこなう研究計画を募集します。 【求められる成果】 本研究計画により、リスクに応じたヘリコバクター・ピロリ検査と、従来の対策型検診を組み合わせた検診方法や、最適な検診プログラムの科学的根拠を提示することが求められます。採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことにご留意下さい。
領域3 アンメットメディカルニーズに応える新規薬剤開発に関する研究				
がん医療へのゲノム編集技術導入へ向けた安全性の高いベクター等の開発	10,000～ 20,000千円程度	最長2年	0～10課題程度	【公募する研究内容】 がん医療におけるゲノム編集技術を用いた革新的遺伝子治療法開発を目標とし、がん細胞に選択的にゲノム編集を導入したり、ゲノム編集効率を高めつつもオフターゲット効果を抑制したりできる安全性の高いベクター開発等に係る研究を募集します。 【求められる成果】 期間内に、がん治療のための安全性の高い新たなベクターやゲノム編集技術等を開発し、その後の非臨床試験への導出の可能性を示す事が求められます。
ゲノム編集技術を用いた、がん医療のための革新的遺伝子治療法開発に資する非臨床試験	100,000千円程度	最長3年	0～2課題程度	【公募する研究内容】 ゲノム編集技術を用いた、がん医療のための革新的遺伝子治療法開発に係る非臨床試験を募集します。 【求められる成果】 がん医療への当該技術の導入に向け、非臨床試験を実施し、実用化に向けた臨床試験への移行に係る非臨床POC取得等の成果が求められます。

領域5 新たな標準治療を創るための研究				
根治を見込めるがんに対し異なるモダリティの治療法を比較検証する研究	10,000～20,000千円	最長3年	0～2課題程度	<p>【公募する研究内容】 本研究課題では、根治を見込めるがんに対し、手術vs.放射線治療法など異なる治療モダリティを比較検証する臨床試験(非劣性又は優越性試験)を実施する研究計画を募集します。</p> <p>【求められる成果】 根治を見込めるがんに対する治療として、標準治療と同等またはこれを上回る効果を持つ異なるモダリティの治療法を確立することが求められます。原則、研究期間の終了時に患者登録を完遂していることが求められますが、必須条件ではありません。実現可能な症例登録数等、研究の目標到達点を設定し、当該目標の最終年度までの達成が求められます。採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
領域6 ライフステージやがんの特性に着目した重点研究				
後期高齢者の特性を踏まえたがん診療の確立に関する研究	10,000 ～ 20,000 千円程度	最長3年	0～3 課題程度	<p>【公募する研究内容】 高齢者のがんを対象として、併存疾患や脆弱性を考慮した有効性の高い標準治療や、安全性が高くQOLを維持できる治療法を確立するために、適切なスクリーニング、診断法、治療法や療養についての臨床試験を募集します。</p> <p>【求められる成果】 研究期間終了までに、臨床試験で得られた新たな科学的知見に基づくガイドラインの作成に着手していることが求められます。採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>